

## 目標達成計画

作成日: 平成24年 4月10日

目標達成計画は、自己評価及び第三者評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	事業所と地域住民とまだグループホームに対する地域住民の認識が浸透していない	地域の方々に事業者を気軽に訪問して頂く機会を提案し、地域との繋がりを深め地域の中でグループホームの認識が深められるよう取り組む	・施設から交流を図れるような行事を企画する ・地区の行事の情報共有や施設を知って頂く事を副次的な目的とした奉仕活動の提案を行う	12ヶ月
2	33	看取りや重度化の対応に対する方針やケア方法が共通理解が不十分な為、実践で活かしきれていない	重度化や終末期に向けた方針の共通理解を図り実践ケアに結び付く勉強会を実施しチームケアとしての充実を図る	・勉強会、研修会に積極的に参加し実践ケアで活かせるような知識や技術の習得を図る ・個人・家族ニーズを尊重しニーズに添ったケアプランを作成し担当医等医療との連携・状態変化に対応できるようチームで支援していく	3ヶ月
3	11	災害対策について、併設施設との協力が必要となる中で、職員同士が積極的に交流が少ない。	積極的に併設施設職員との連携を図り、災害時の協力体制の確立	・月に1回ミニ消防訓練を実施し、建物の構造や人員体制の把握を行い日々の訓練の充実化を図る ・併設施設と合同の災害訓練を実施する	12ヶ月
4	10	遠方の家族もおられる中、訪問が少ない現状がある。家族との交流の場や絆を深められる機会の提供が必要である。	・本人、家族、職員との連携をスムーズにする ・本人の思いや意向、状態変化など家族へ伝えながら家族が交流を図れる機会を提案し、本人と家族の絆が深められるよう支援する	・定期受診は近隣の家族には出来るだけ協力して頂き本人との出会える機会を作る ・家族が参加しやすい行事の企画作成し、日々に様子を写真を含めたお便りにて紹介する	3ヶ月

